

平成 23 年度 東京都 経営革新最優秀賞 受賞

ABiLINXシリーズとは・・・

ハイテクインターは 2003 年より、海外メーカーのネットワーク機器を日本国内のお客様へご提供する輸入商社として実績を重ねてまいりました。
しかし、輸入販売だけでは高度化する日本の市場やお客様が求める機能、品質やサポート水準を満たすことは難しく、自社製品を開発する必要性を強く感じる様になりました。

そこで開発に乗り出したのが、メタル線（電話線）を活用した LAN 延長が可能な DSL モデム、**ABiLINX**（アビリンクス）です。

ABiLINX という名前について

「拠点間を効率よく繋ぐ」「お客様との繋がりを大切にする企業でありたい」というコンセプトのもと、

“**Ability**（能力）”と“**Link**（繋げる）”をベースに創られた
ハイテクインターの自社ブランド名であり、登録商標です。

ABiLINX の実績について

2007 年に開発を開始、翌 2008 年には ABiLINX シリーズ第一号が完成し、販売を開始致しました。
導入先の環境によって異なる様々なニーズにお応えするため、通信速度・距離、耐環境性等の面から新たな機種が続々とシリーズに加わり、2011 年 10 月現在では 7 機種をラインナップしています。
ABiLINX のそうした「繋げる力」をお客様にご好評いただき、販売開始以来主に官公庁・交通機関やプラントに対し、実に 2000 台以上の導入実績を重ねてまいりました。

ABiLINX のこれからについて

これからもお客様のご要望に応えるべく、ABiLINX はさらなる進化を遂げていきます。
今後も産業用イーサネット業界における ABiLINX の活躍にご期待ください。

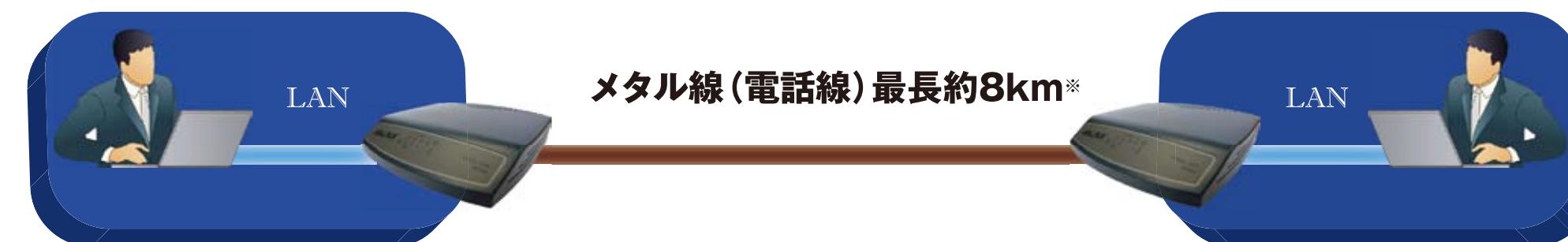
ABiLINX シリーズを始めとする DSL モデムにできること

本来なら LAN ケーブルを使った通信は 100m が限界。
でも DSL モデムを両端に起き、その間をメタル線（電話線）で通信させることで、通信距離を数 km まで大幅に延長!!

導入のメリット

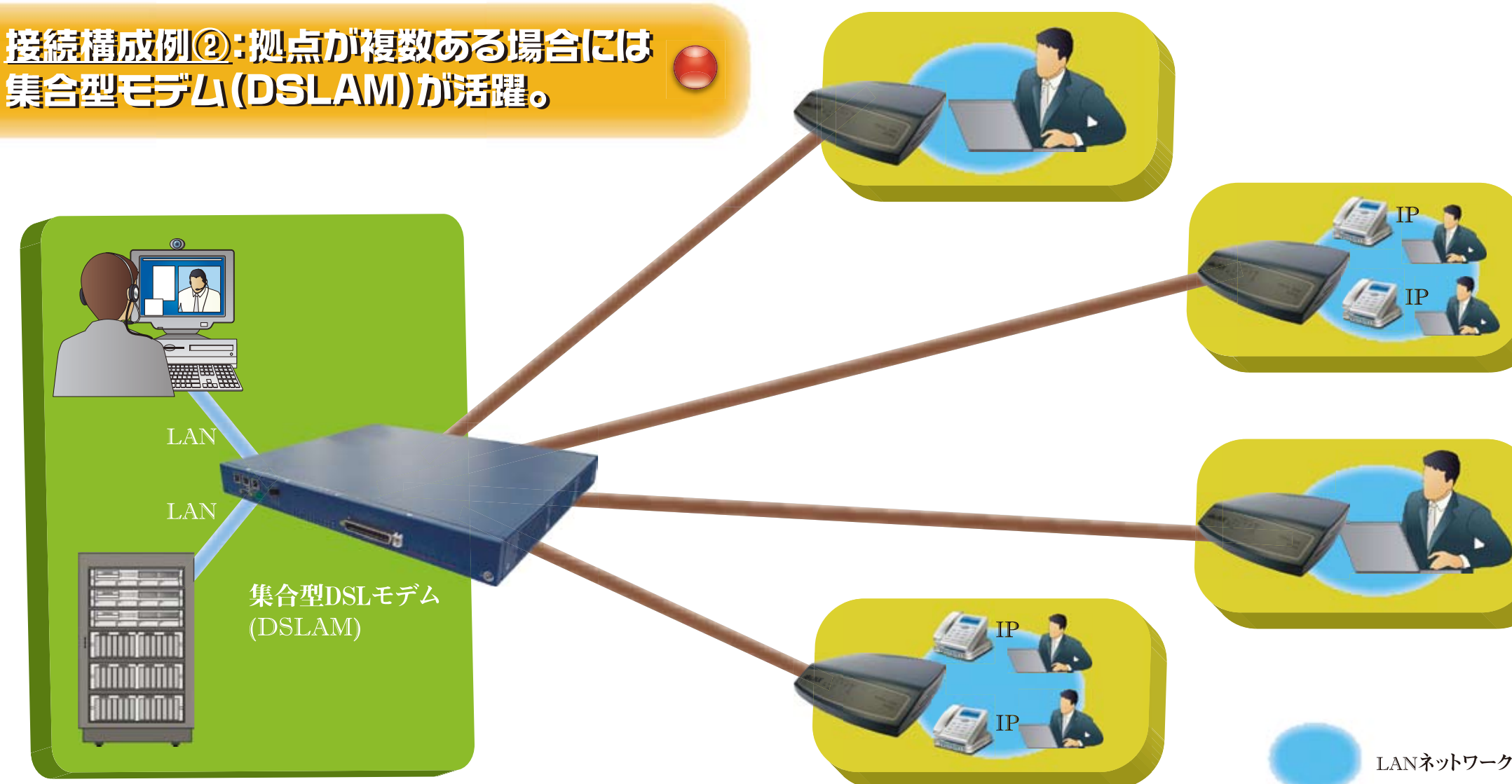
光ファイバーの導入が難しい環境でも、
既存の構内回線を活用して光ファイバー並みの
長距離・高速通信を実現

接続構成例①：2 拠点間通信の場合



※2011年10月現在、ABiLINXシリーズの最長通信距離

接続構成例②：拠点が複数ある場合には 集合型モデム (DSLAM) が活躍。



主な導入先

ABiLINX シリーズは、
様々な業界に導入実績
2000 台以上！



鉄道



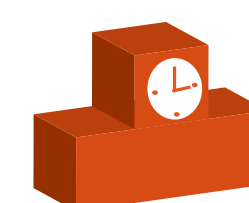
船舶



工事現場



高速道路



キャンパス



工場



企業・ホテル



スキー場



ゴルフ場